

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和 6年 6月 21日
香川県知事 殿		
		
提出者		
住 所		香川県三豊市詫間町詫間2112番地59
氏 名		四国日清食品株式会社
		代表取締役社長 田所 一弘
		電話番号 0875-83-3311
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	四国日清食品株式会社	
事業場の所在地	香川県三豊市詫間町詫間2112番地59	
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	冷凍調理食品製造業 [0995]	
②事業の規模	製品出荷額 7,973,715千円	
③従業員数	195名	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図).
別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成35年度)実績】							単位:t
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ類	金属屑	コンクリートくず及び陶磁	廃油	0
	排出量	3,326.80	624.85	137.98	1.36	0.11	0.08	0.00
	(これまでに実施した取組) フィルム、袋廃棄削減。排水量の削減、負荷の削減。							
②計画	【目標】							単位:t
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ類	金属屑	コンクリートくず及び陶磁	廃油	0
	排出量	3,000	510	120	1			
	(今後実施する予定の取組) フィルム、袋廃棄削減。排水量の削減、負荷の削減。							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 堆肥化処理していた動植物性残渣を、一部飼料化できるよう分別。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 堆肥化処理していた動植物性残渣を飼料化できるよう分別。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(平成35年度)実績】							単位:t
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ類	金属屑	コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油	0
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】							単位:t
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ類	金属屑	コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油	0
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量							
	(今後実施する予定の取組)							

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(平成35年度)実績】							単位:t
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ類	金属屑	コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油	0
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2,993.81	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②計画	【目標】							単位:t
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ類	金属屑	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油	0
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量							
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2660						
③実績	【前年度(平成35年度)実績】							単位:t
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ類	金属屑	コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油	0
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量							
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量							

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
①現状	【前年度(平成35年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ類	金属屑	コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ類	金属屑	コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度(平成35年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ類	金属屑	コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油
	全処理委託量	332.99	624.85	137.98	1.36	0.11	0.08
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	1.36	0.11	0.00
	再生利用業者への処理委託量	332.99	597.69	0.00	1.36	0.11	0.00
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	(これまでに実施した取組) 汚泥は堆肥化、残渣は発酵・乾燥、廃プラは固形化燃料。						

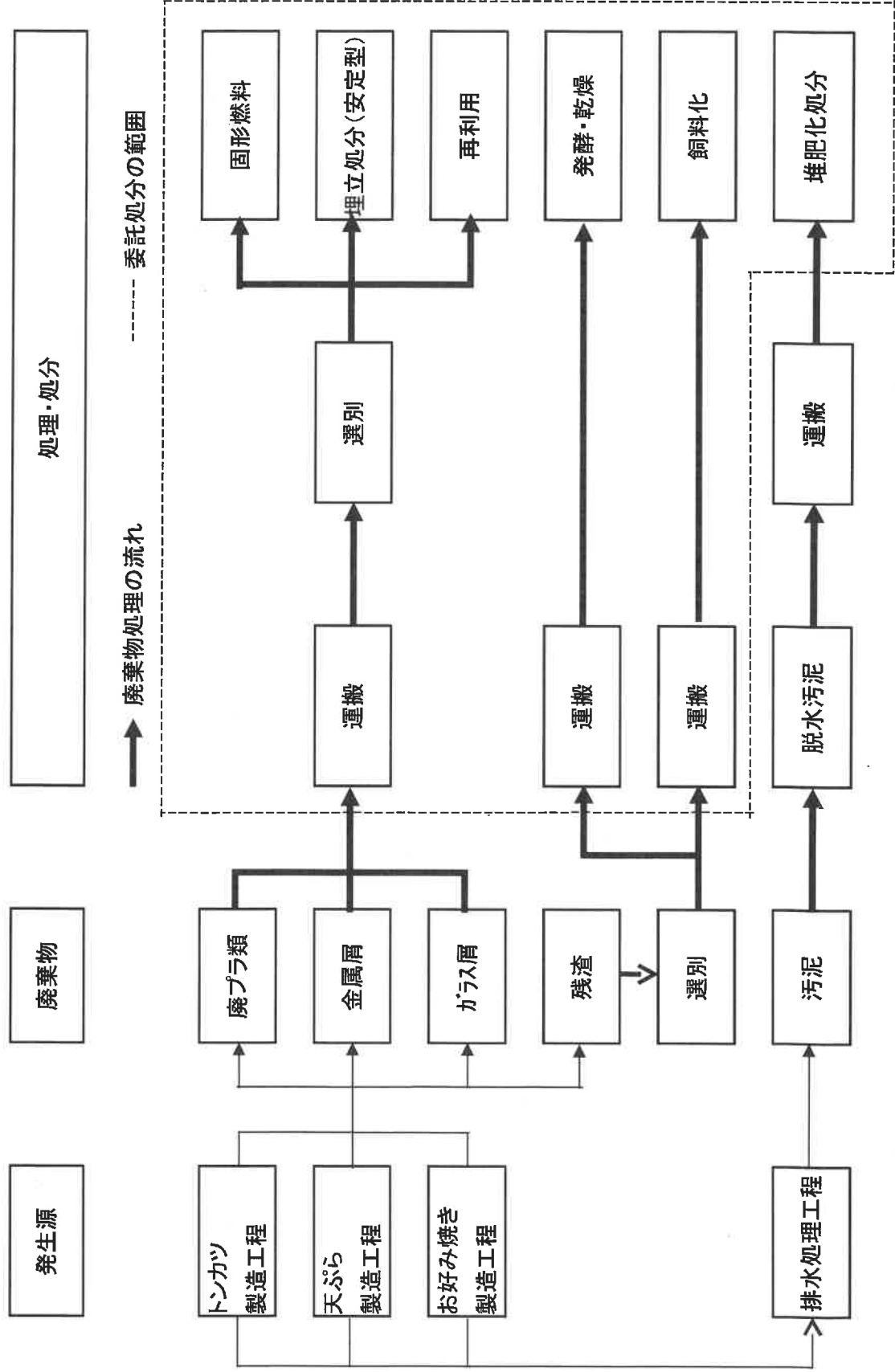
(第5面)

②計画	【目標】						単位:t	
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ類	金属屑	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油	0
	全処理委託量	340	510	120	1	0.00		
	優良認定処理業者への処理委託量				1			
	再生利用業者への処理委託量	340	480		1	0.00		
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
	(今後実施する予定の取組) 汚泥は堆肥化、残渣は発酵・乾燥、廃プラは固形化燃料。							
※事務処理欄								

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理の工程

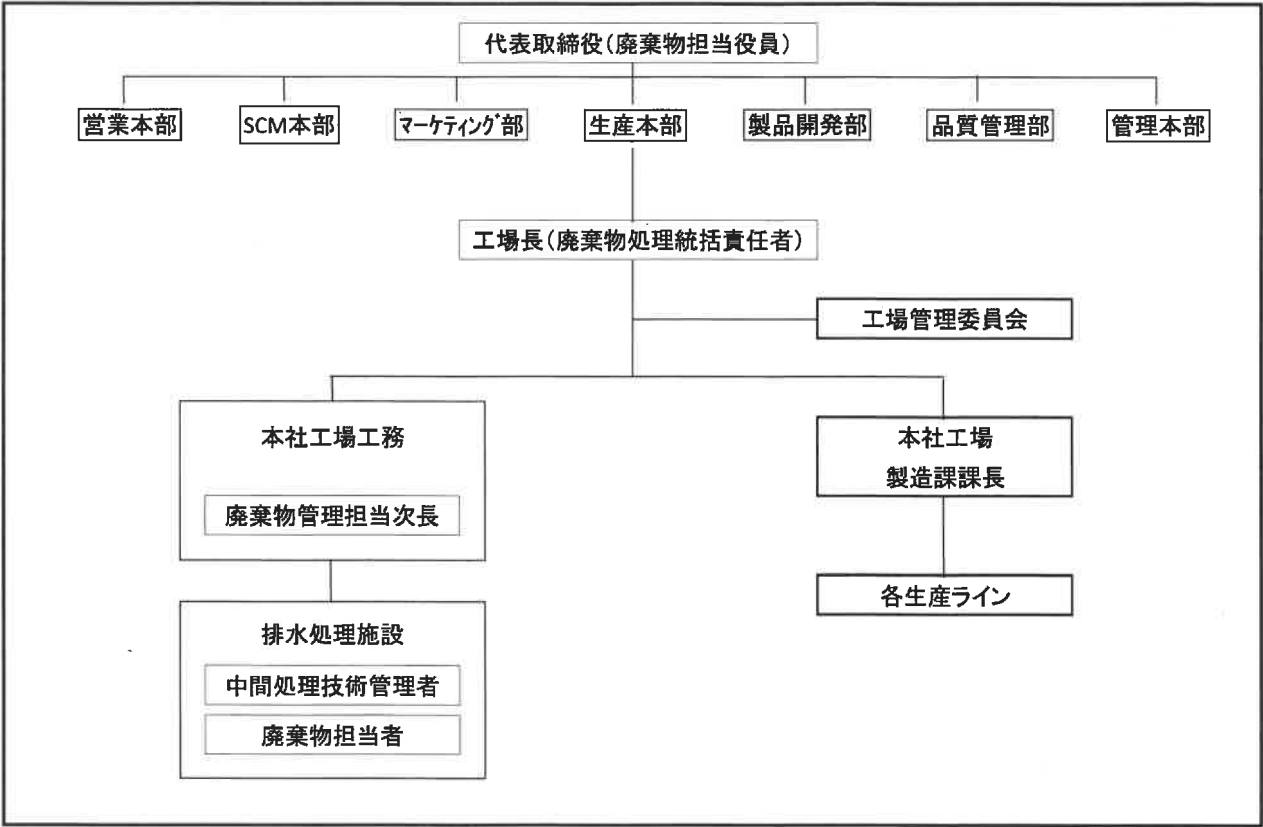


別紙2
管理体制図

責任者及び管理組織図

統括責任者		所属： 生産本部	職・氏名 工場長	上村 一弘
廃棄物担当		所属： 本社工場工務	職・氏名 次長	樫谷 昌伸
		組織人数:8人		
役割	廃棄物処理統括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○工場の廃棄物管理規定の策定、改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認		
	工場環境管理委員会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長—工場長 ・委 員—関連部署部課長 ・事務局—本社工場工務		
	廃棄物管理担当課長	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転、維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付、管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員に対する教育、啓発 ○その他関係する事項		

廃棄物管理組織



入力シート(まずこのシートの該当事項を入力してください。計画書及び報告書に該当事項が自動入力されま
★計画書及び報告書に押印は不要です。計画書には、担当省名、個人名(代表者の氏名を除く。)を記載せず、記入する場合には役職のみを記
該当する内容を入力してください。処理計画や実施状況報告書に反映されま
廃棄物の種類を入力してください。7種類まで入力可(8種類以上の場合は、下記※
単位はトンです。数字のみ入力してください。

住 所	香川県三豊市詫間町詫間2112番地59
氏 名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	四国日清食品株式会社
電話番号	0875-83-3311
事業場の名称	四国日清食品株式会社
事業場の所在地	香川県三豊市詫間町詫間2112番地59
事業の種類	冷凍調理食品製造業 [0995]

【2023年度実績】

単位:t

	産業廃棄物の種類						
	汚泥	動植物性残渣	廃プラ類	金属屑	ガラスくず・コン クリートくず及び 陶磁器くず	廃油	
① 排出量	3,326.80	624.85	137.98	1.36	0.11	0.08	
② 自ら直接再生利用した量							
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入 処分した量							
④ 自ら中間処理した量	3,326.80						
⑤ ④のうち熱回収を行った量							
⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	332.99						
⑦ 自ら中間処理により減量した量	2,993.81						
⑧ 自ら中間処理した後再生利用し た量							
⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処 分又は海洋投入処分した量							
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の 処理委託量	332.99	624.85	137.98	1.36	0.11	0.08	
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への 処理委託量				1.36	0.11		
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理 委託量	332.99	597.69	0.00	1.36	0.11		
⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処 理委託量							
⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託 量							

※廃棄物の種類が8以上の場合は2度に分けて入力し、2度目の入力については、計画書又は報告書の2面目以
降(計画書6面及び報告書3面を除く。)を提出してください。

す。)

載してください。

す。

※参照)